

カッチャバ湿原で初夏の昆虫観察を開催

平成21年6月13日、「朝日自然塾」第2回プログラム『カッチャバ湿原で初夏の昆虫観察』は、山形市内の小学生親子22人が参加して開催されました。

当日は定刻に大井沢自然博物館前に集合、期待に胸を膨らませてカッチャバの湿原に向かいましたが、湿原についた頃からあいにくの小雨模様となりました。

雨の中でも、子供達の目は生き生きと輝き湿原の昆虫を追っていました。



日本一小さいハッチョウトンボ(オス)



湿原には様々な珍しい昆虫がたくさんいました。
ハッチョウトンボを探す。



ここにいた！
驚ろかさなないように、そ〜っと 交代でハッチョウトンボを観察。



子供達の1番人気は、イモリでした。
多くの友達が手にとって喜んでいました。
モリアオガエルやトノサマガエルもいました。



アカハライモリ



モリアオガエル



「わぁ～！面白い顔をしてる！！」
ジンガサハムシを顕微鏡で観察



標本を見る子供達の目は今までになく
キラキラと輝いていました。



世界一大きいクモの標本や、珍しい標本の数々を手にとってみて、すっかり虫の世界に入り込み、時間のたつのも忘れるくらいでした。

また、様々な昆虫は必要以外は見たら放してやる、昆虫たちの生息環境を壊さない、ゴミは必ず持ち帰る等の山のルールやマナーも学びました。



最後に大井沢自然博物館前で記念撮影。